

東証第2部 証券コード4323

開催日：2016年12月1日

The logo for Japan System Techniques Co., Ltd. (JST) is centered within a large, stylized graphic of blue circles of varying sizes that form a circular pattern, resembling a sunburst or a molecular structure. The circles are arranged in concentric rings, with the innermost circles being smaller and the outermost being larger. The overall effect is a dynamic, circular composition that frames the central logo.

JST

Finding the right solution, just for you

2017年3月期 第2四半期 決算説明会

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

目次

1. 業績ハイライト P - 03

2. JASTグループの概要 P - 06

3. JASTグループの特長 P - 08

4. 2017年3月期 第2四半期の業績分析 P - 18

5. 2017年3月期の計画 P - 30

6. その他トピックス P - 38

1. 業績ハイライト

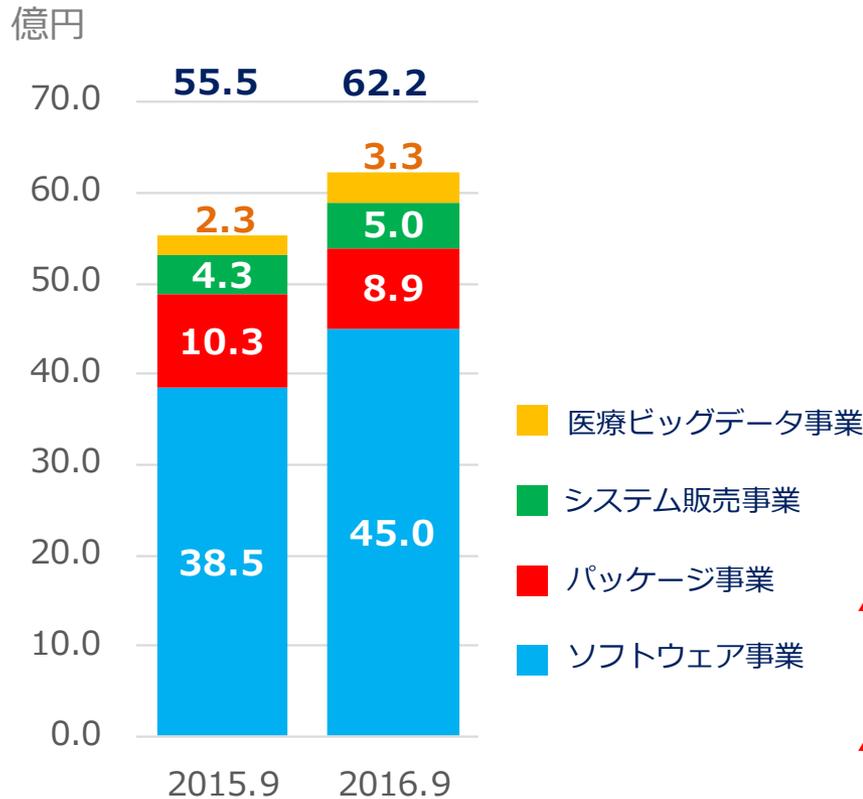
1 - 1. 連結業績

		2015年3月期 2Q累計実績	2016年3月期 2Q累計実績	2017年3月期 2Q累計実績	前年比
売上高	(百万円)	5,424	5,558	6,226	112%
売上総利益	(百万円)	1,052 19.4%	1,117 20.1%	1,183 19.0%	106%
営業利益	(百万円)	78 1.4%	34 0.6%	24 0.4%	71%
経常利益	(百万円)	114 2.1%	53 1.0%	37 0.6%	70%
四半期純利益	(百万円)	60 1.1%	42 0.8%	8 0.1%	19%
一株当たり当期純利益	(円)	11.51	8.05	1.61	20%
総資産	(百万円)	8,617	9,159	9,471	103%
純資産	(百万円)	5,163	5,262	5,294	101%
自己資本比率	(%)	59.1	56.9	55.5	▲1.4
自己資本利益率	(%)	1.2	0.8	0.2	▲0.6
従業員数	(人)	823	836	889	53

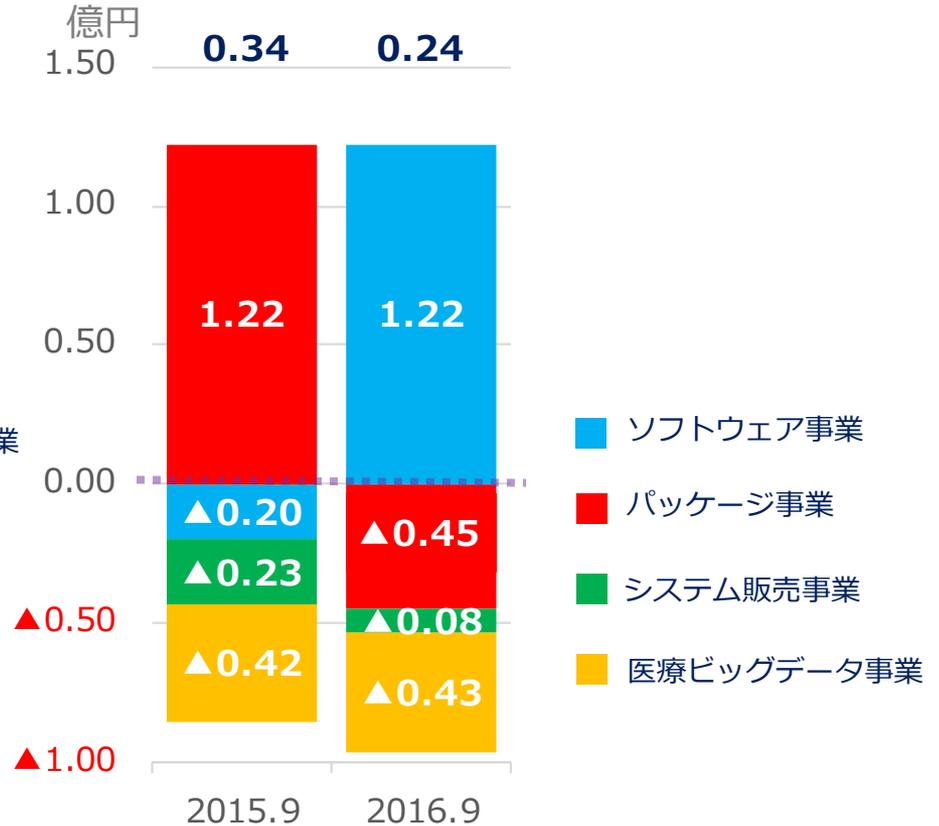
* %数値は各々の利益率及び前年対比を表します。

当初予想（売上62億円、営業利益14百万円、経常利益26百万円、純利益6百万円）を上方修正し、達成

売上高



営業利益



- ◆ソフトウェア事業 : サービス・流通業 / 金融・保険・証券業 / 官公庁 / 通信業向け案件の業績好調を受けて増収増益
- ◆パッケージ事業 : 導入支援 / 大学向けパッケージ 販売が減少し減収減益
- ◆システム販売事業 : 公共系SI案件の拡大により増収
- ◆医療ビッグデータ事業 : レセプト件数の増加、データ分析等のサービス拡充により増収

2016年5月 株式会社アイエスアールを連結子会社化

- * 1983年の創業以来、都市ガス、通信、流通/小売業界向けシステム開発及びソフトウェア開発を手掛け、東京エリアを中心に優良企業と長期取引。
- * 東京エリアの事業拡大及びS Iサービスの強化によりグループの成長力を更に促進。

GAKUENシリーズ中国輸出

- * GAKUEN、Universal Passport及びGAKUEN EduTrack (e-learningシステム) が中国国内で本稼働中。今後、更に利用範囲を拡大。

医療ビッグデータ 投資回収に向け躍進

- * レセプト点検サービスのクラウド化により、月間処理件数が1,000万超。
- * 点検サービスに加え、分析・通知サービス、データヘルス計画コンサル等のサービス拡充により、3年間で売上6倍。

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

東証2部 略称JAST 証券コード4323 銘柄略称「日シス技術」

設立	1973年〔昭和48年〕3月
資本金	10億7,666万円〔2016年9月末現在〕
系列	なし〔完全独立系〕
所在地	大阪本社〔本店〕 大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー28・29階
	東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル26・27階
代表者	代表取締役執行役員 平林 武昭

単位：百万円

2016年3月期の業績	連結	単体
売上高	11,821	10,160
営業利益	401	414
経常利益	441	437
当期純利益	291	288
従業員数（人）	821	633

* 連結子会社8社〔東京・大阪・シンガポール・タイ・中国〕

* 2016年9月末現在の従業員数（連結）889名

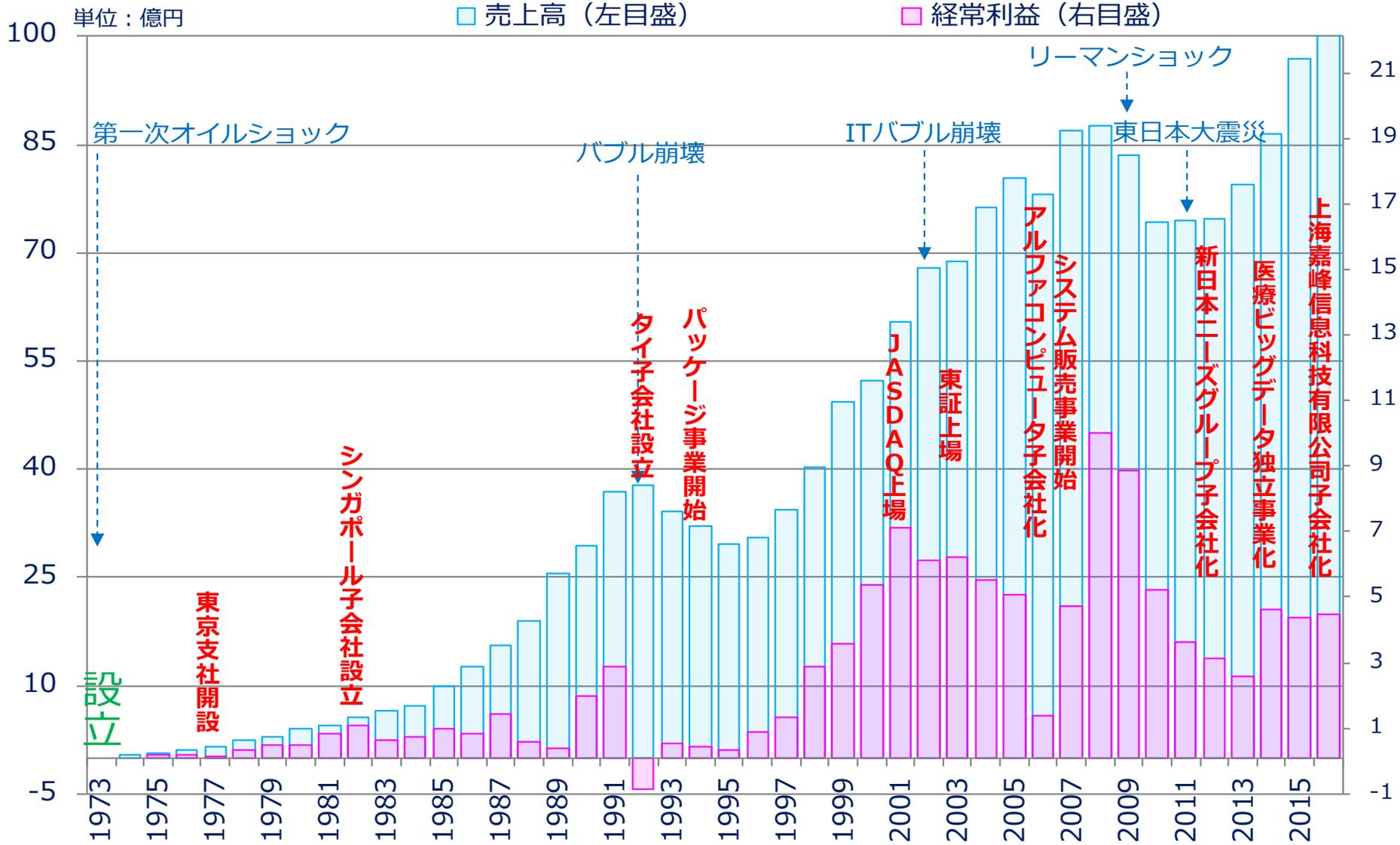
各種資格

- ◆ プライバシーマーク認定
- ◆ ISO9001 登録事業者
- ◆ ISO14001 登録事業者
- ◆ ISO27001 登録事業者

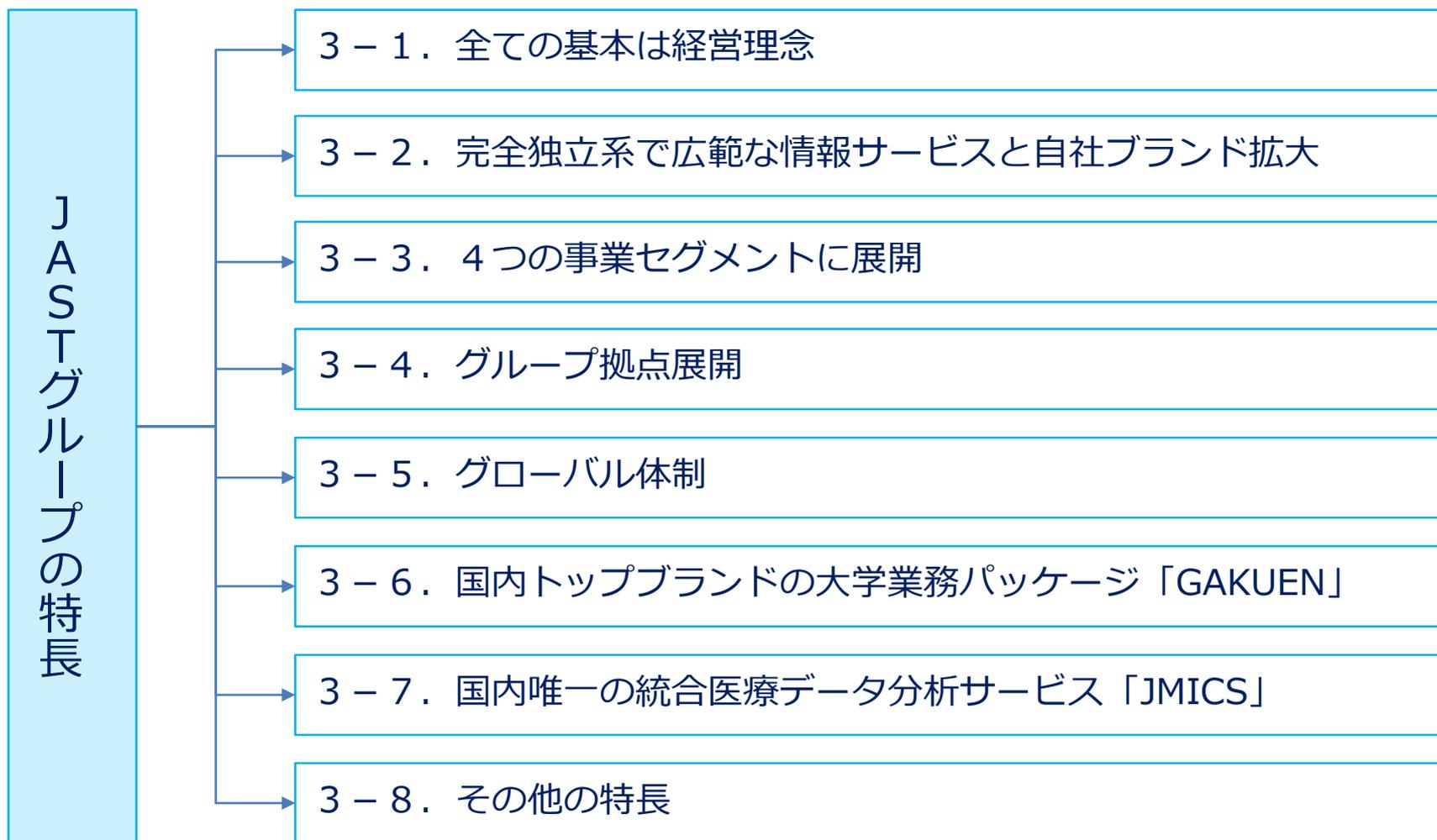


2. JASTグループの概要

2-2. 単体業績の推移



3. JASTグループの特長



「情報化の創造・提供による社会貢献」をモットーとして、いかなる企業系列にも属さない完全独立系の立場を堅持することにより、業種、技術分野、プラットフォーム等を問わず、常に最新の技術に挑戦しつつ、自由な立場で幅広い分野の開発業務に取り組むことを経営の基本方針としております。

この基本方針に則り、お客様、株主、社員、社会がそれぞれwin-win（双方有益）の関係を築くべく、「四方よし」の理念を掲げ、それぞれの価値を最大化し、全体としての企業価値を高めることにより、安定的成長を実現することを目標としております。

また、こうした成長の原動力となるのは従業員ひとりひとりの情報システム開発に対する情熱と顧客への誠心誠意のサービスであり、そのためには人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信念に基づいた「人づくり」経営に徹することとしております。

～ 経営理念の基本的な考え方 ～

天爵を修めて人爵これに従う

「天爵」とは、人として不断に道義・原理原則を実行し、人格・品性・徳を高めていくことで、尊敬され信頼される品格を備えた人に自然的に与えられる位を意味し、「人爵」とは、業績や経験に基づき団体や上司から人為的・便宜的に与えられた外見上の位階を指しています。

天爵を修めることに努め、結果として自ずと人爵を与えられるのが理に適う順序立てであるのに、人は先に人爵を与えられるとあたかも自分は天爵も得たものと錯覚してしまい、それが態度や行動に出てしまうことが多い。これは本末転倒であるとの考えに基づき、一人ひとりがまず天爵を修めることを究極のテーマとして日々の生活を送ることを奨励しています。

メーカーや系列等一切の制約がなく、自由な立場で広範なサービスが提供可能

Sier
**ソフトウェア
事業**
ソフトウェアの
個別受託開発

JAST
ブランド
パッケージメーカー
**パッケージ
事業**
ソフトウェア
パッケージ開発・販売

BtoB販社
**システム販売
事業**
ハード・ソフトの販売
ITインフラの構築

JAST
ブランド
医療BIベンダ
**医療
ビッグデータ
事業**
医療情報データの点検
分析及び関連サービス

- ①ビジネス
アプリケーション
- ②エンジニアリング
アプリケーション
- ③イベント
アプリケーション

戦略的・大学経営システム
開発・販売
導入支援・保守など

文教・公共系
ITインフラの構築

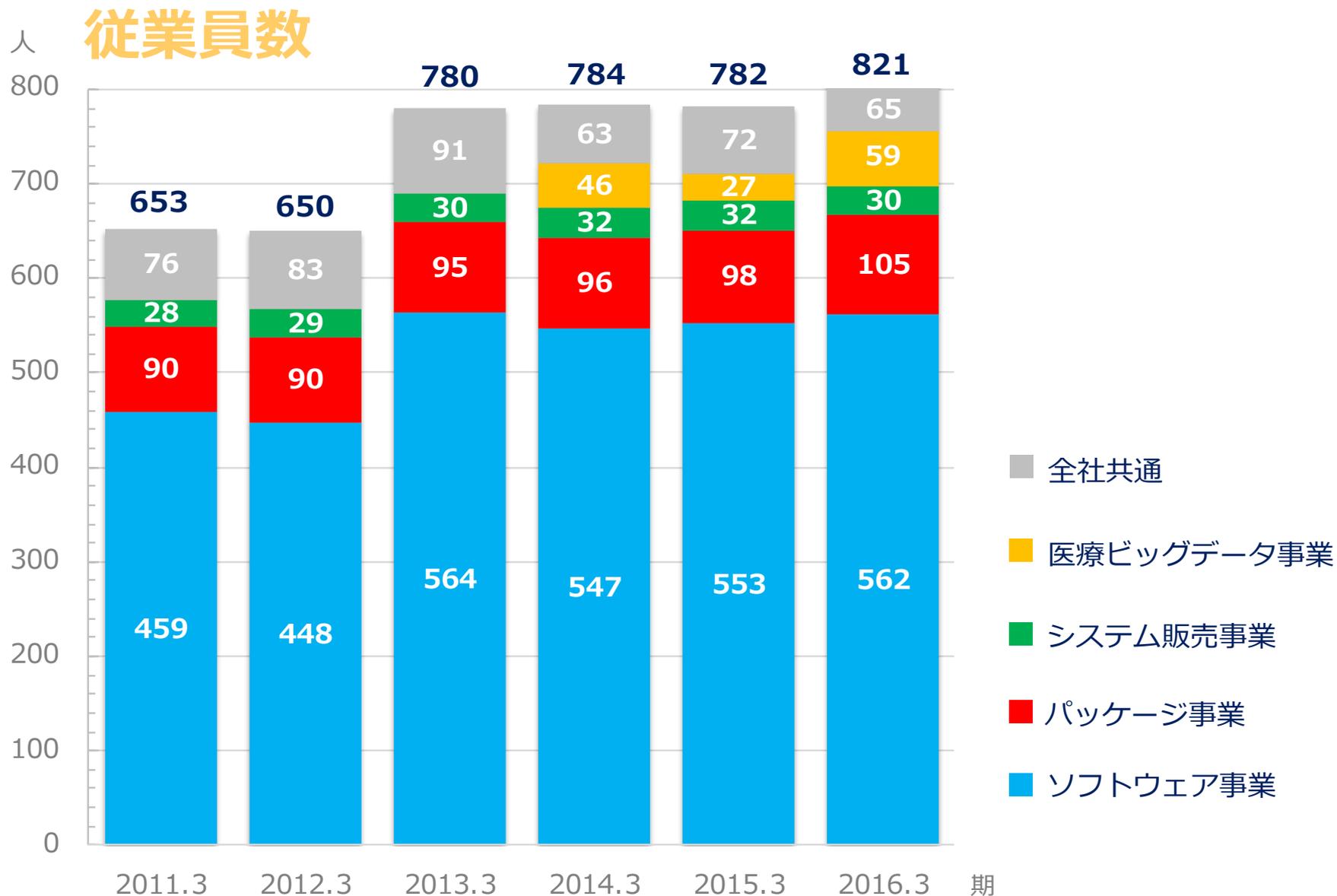
レセプト自動点検
分析・医療費通知
データヘルス計画支援
トータルサービス展開

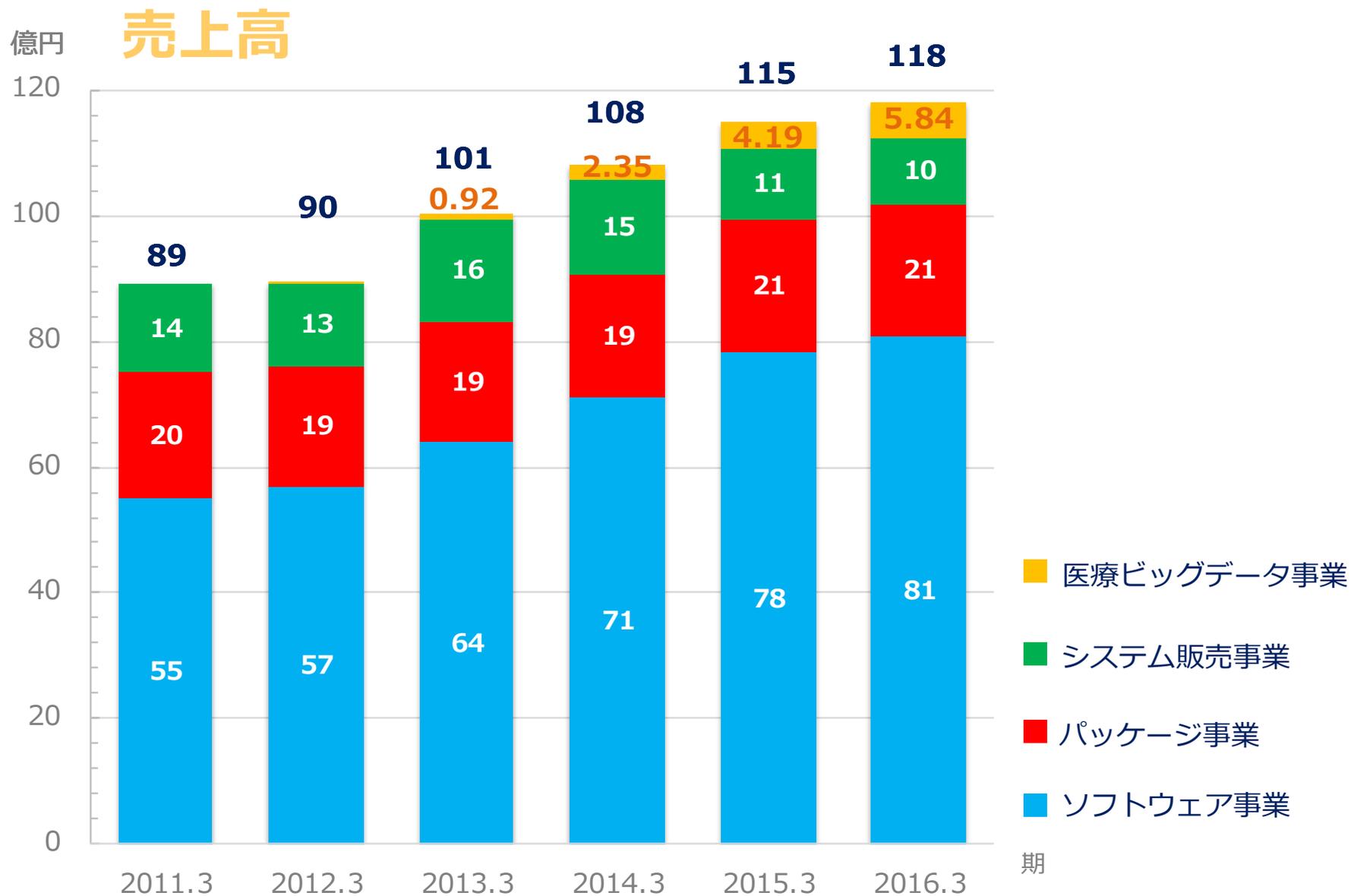
多様性・共存の実現

その他自社ブランドサービスの拡大

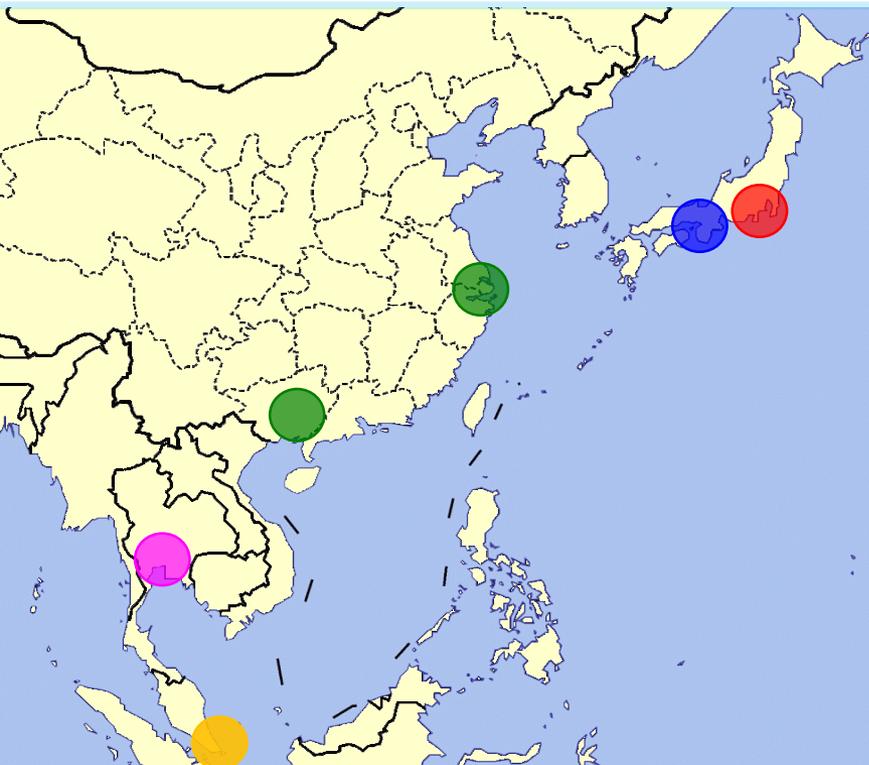
- ◆銀行向けCRMパッケージ「BankNeo」
◆独自商流のオフショア開発ASEANネットワーク

- ◆スマートフォンアプリ群「京都禅寺巡り」
◆コンサルテーション及び教育





3. JASTグループの特長 3-4. グループ拠点展開



大阪本社
大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー28・29階



東京本社
東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル26・27階

アルファコンピュータ株式会社
東京都品川区 ★マルチベンダ IT インフラ設計 (システム販売)

株式会社アイエスアール
東京都新宿区 ★受託開発、パッケージ開発・販売

株式会社新日本ニーズ
大阪市 ★地域密着型受託開発

SafeNeeds株式会社
大阪市 ★受託開発、中国オフショア案件のブリッジ会社

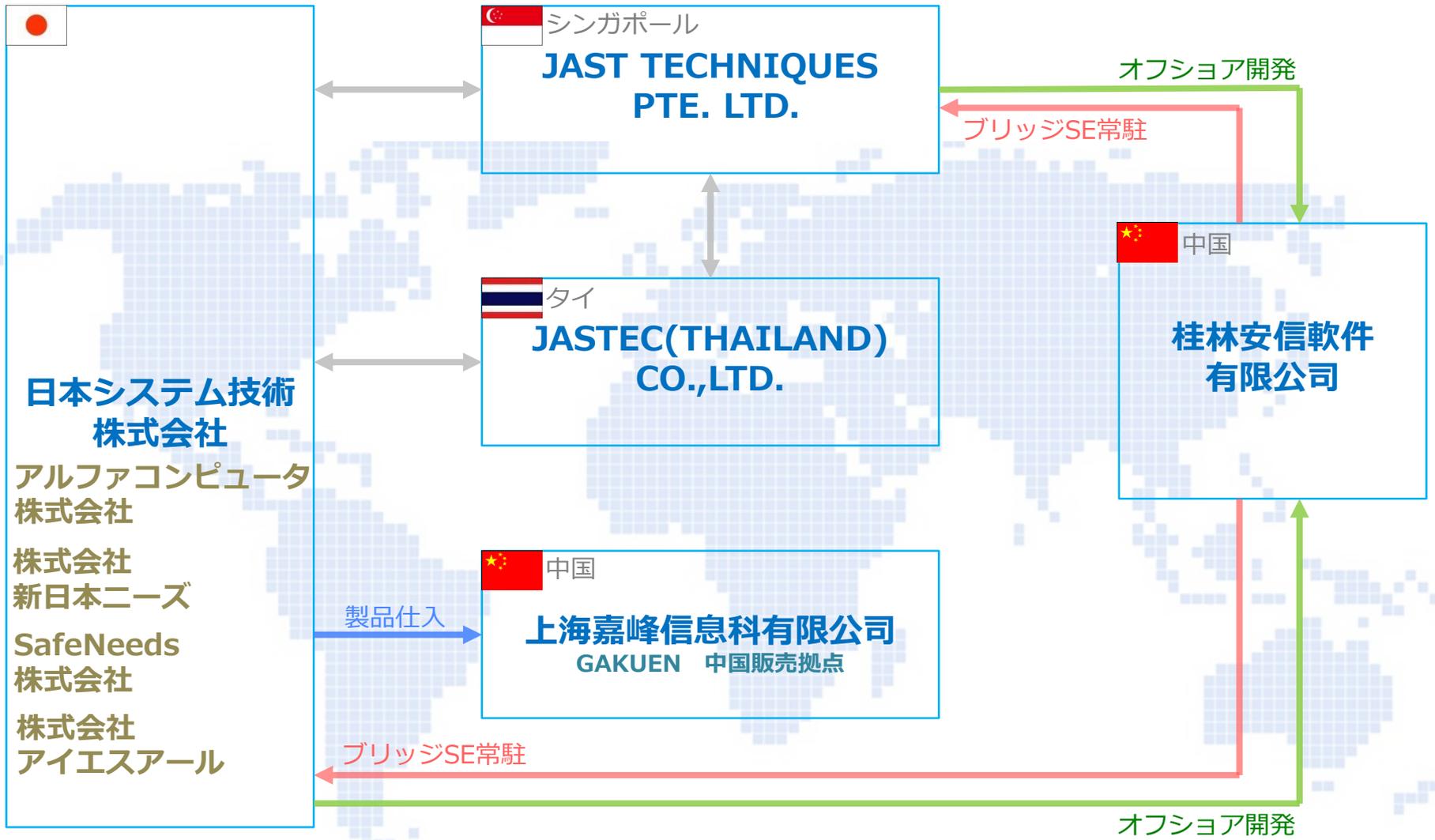
JAST TECHNIQUES PTE. LTD.
シンガポール ★現地日系企業向け開発

JASTEC(THAILAND) CO., LTD.
タイ バンコク ★現地日系企業向け開発

桂林安信軟件有限公司 ★オフショア開発拠点
中国広西チワン族自治区桂林市 ★中国国内拡販拠点

上海嘉峰信息科技有限公司 ★GAKUEN
中国上海市 中国販売拠点

グループ各社間の取引と情報交換を活性化



3. JASTグループの特長 3-6. 国内トップブランドの大学業務パッケージ「GAKUEN」

導入実績

大学：257校
短大：86校
他：18校
合計：361校

広島経済大学
比治山大学
近畿大学工学部
広島文教女子大学
ノートルダム清心女子大学
山口県立大学（公）
岡山県立大学（公）
環太平洋大学

近畿大学
甲南大学
追手門学院大学
阪南大学
兵庫県立大学（公）
大手前大学
神戸女子大学
プール学院大学
梅花女子大学
神戸女学院大学
大阪音楽大学
京都光華女子大学
薫英学園
産業技術短期大学
千里金蘭大学
平安女学院大学

東北福祉大学
宮城学院女子大学
東北工業大学
岩手県立大学（公）
山形県立保健医療大学（公）
東北芸術工科大学
日本大学工学部

新潟医療福祉大学
新潟薬科大学
北陸大学
福井大学(国)

北海道教育大学（国）
公立はこだて未来大学
酪農学園大学

東京理科大学
成蹊大学
慶應義塾大学
東京電機大学
桜美林大学
日本大学薬学部
文教大学
玉川大学
日本女子大学
武蔵大学
日本体育大学
共立女子大学
ワリイ女学院大学

聖カタリナ大学

名城大学
愛知教育大学（国）
四日市大学
愛知大学
三重大学(国)
聖隷クリスミア大学
名古屋外国語大学
日本大学国際関係学部

福岡工業大学
南九州大学
近畿大学産業理工学部
日本文理大学
西南女学院大学
九州国際大学

導入実績361校

導入実績：2016年10月30日現在

JMICS JAST Medical Insurance Checking Service

点検サービス

- ・レセプト内容点検
- ・アウトソーシング
- ・ユーザークラウド
- ・ビジネスクラウド
- ・海外療養費点検
- ・柔整点検

レセプト内容点検には、弊社の点検システムを、保険者様にてご利用いただく「ユーザークラウド」と、点検事業者様にてご利用いただく「ビジネスクラウド」がございます。

医療費適正化サービス

- ・ジェネリック促進通知
- ・花粉症通知
- ・統合通知
- ・頻回、重複受診者対応

医療費
適正化

医療情報
データベース

レセプト
データ

健診結果
データ

加入者
データ

データ
ヘルス

保健事業
支援

医療費
適正化

医療情報
データベース

レセプト
データ

健診結果
データ

加入者
データ

データ
ヘルス

保健事業
支援

データヘルス実行支援

- ・リスカルくん
（保険事業支援ツール）
- ・データヘルス計画
- ・レセプト/健診データ分析
- ・ハイリスク者階層化分析
- ・事業所別分析レポート
- ・健康白書
- ・加入者向け健康レポート
- ・受診勧奨通知
- ・保健師・栄養士等による
各種保健指導、セミナー

保健事業支援ツールの提供、健康白書や事業所別分析レポート等の作成、医療費や健診データ分析、受診勧奨通知、保健師による支援サービスなど、データヘルスにおけるPDCAサイクルを廻すための各種サービスの提供が可能です。

事務効率化サービス

- ・健診事務代行
- ・WEB検認
- ・各種事務代行

長期安定成長の実現

人物重視

- * 新卒中心の採用と長期的な人材育成
- * 人材流動の激しい業界内で高い社員定着率

品質安定
低コスト体質

特徴的な営業戦術

- * ソフトウェア事業（受託開発）：
 - ・ SE自らリピート案件発掘
 - ・ 新規顧客は専門営業がソリューション提案
- * その他事業：
 - ・ 代理店、教育機関、官公庁、健保組合等
 - 異種カスタマ層へのマーケティング展開

性格の異なる4事業の
共存共栄に成功

品質・信頼へのこだわり

- * 「一括丸投げ」は行わない、社員中心のプロジェクト編成
- * 請負った案件は満足頂くまでやり抜く、途中退場はしない

高いリピートオーダー率
大手顧客との長期取引

徹底したコスト管理

- * 間接部門を含む全活動をプロジェクト化しデータ管理
- * 個人別30分毎の売上・原価管理
- * コンパクトな本社間接部門

問題の早期発見による
不採算案件の最小化、
低コスト体質

4. 2017年3月期 第2四半期の業績分析

4-1. 連結業績の推移

4-5. 研究開発費

4-2. 事業セグメント別業績

4-6. キャッシュフローの推移

4-3. カテゴリ別業績

4-7. 株価の推移と流動施策

4-4. 貸借対照表の推移

4-8. 日経平均株価との相関

4. 2017年3月期 第2四半期の業績分析

4-1. 連結業績の推移

単位：百万円

	2015年3月			2016年3月			2017年3月			前年比		
	上期	下期		上期	下期		上期	下期	通期 予想	上期	下期	
売上高	5,424	6,081	11,505	5,558	6,263	11,821	6,226		13,120	112.0%		111.0%
売上原価	4,371	4,777	9,148	4,440	4,814	9,254	5,043			113.6%		
	80.6%	78.6%	79.5%	79.9%	76.9%	78.3%	81.0%			1.1%		
売上総利益	1,052	1,304	2,356	1,117	1,449	2,566	1,183			105.9%		
	19.4%	21.4%	20.5%	20.1%	23.1%	21.7%	19.0%			▲1.1%		
販売費及び一般管理費	973	1,019	1,992	1,082	1,083	2,165	1,159			107.1%		
	17.9%	16.8%	17.3%	19.5%	17.3%	18.3%	18.6%			▲0.9%		
研究開発費	139	130	269	159	187	346	143			90%		
営業利益	78	285	363	34	367	401	24		600	70.6%		149.6%
	1.4%	4.7%	3.2%	0.6%	5.9%	3.4%	0.4%		4.6%	▲0.2%		1.2%
経常利益	114	321	435	53	388	441	37		610	69.8%		138.3%
	2.1%	5.3%	3.8%	1.0%	6.2%	3.7%	0.6%		4.6%	▲0.4%		0.9%
当期純利益	60	168	228	42	249	291	8		355	19.0%		122.0%
	1.1%	2.8%	2.0%	0.8%	4.0%	2.5%	0.1%		2.7%	▲0.6%		0.2%
包括利益	-	-	314	-	-	191	-			-		

利益が下期に集中する傾向にあり、特に第4四半期（末）の業績貢献度が高い

4. 2017年3月期 第2四半期の業績分析

4-2. 事業セグメント別業績

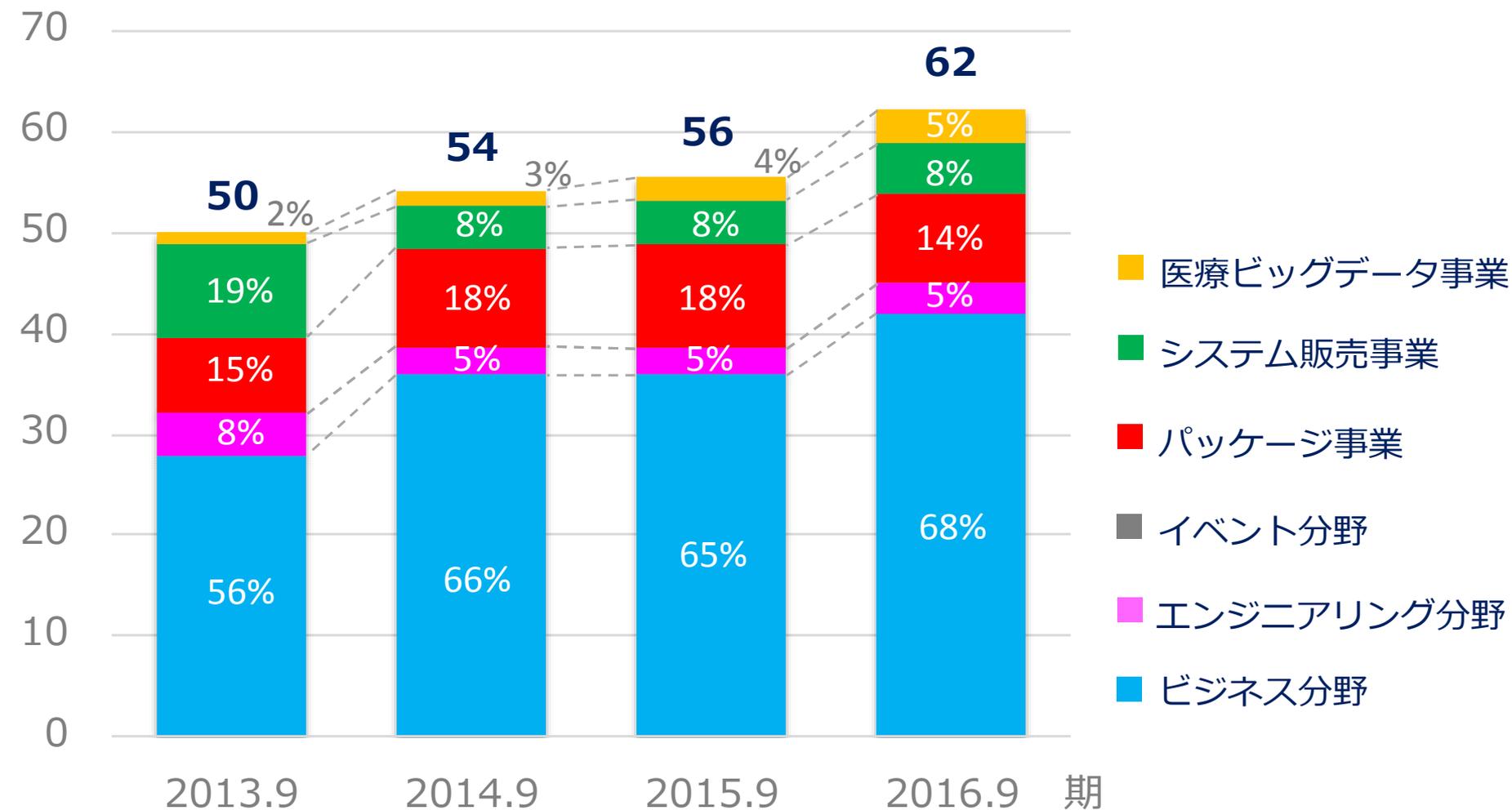
単位：百万円

		2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	前年比	
		2Q累計実績	2Q累計実績	2Q累計実績	差額	比率
		構成	構成	構成		
JASTグループ	売上高	5,424	5,558	6,226	668	112.0%
	営業利益	78	34	24	▲10	70.6%
ソフトウェア事業	売上高	3,875 71.4%	3,856 69.4%	4,501 72.3%	645	116.7%
	営業利益	143	▲20	122	142	—
パッケージ事業	売上高	978 18.0%	1,036 18.6%	887 14.2%	▲149	85.6%
	営業利益	50	122	▲45	▲167	—
システム販売事業	売上高	415 7.7%	433 7.8%	504 8.1%	71	116.4%
	営業利益	▲39	▲23	▲8	15	—
医療ビッグデータ事業	売上高	155 2.9%	232 4.2%	333 5.3%	101	143.5%
	営業利益	▲76	▲42	▲43	▲1	—

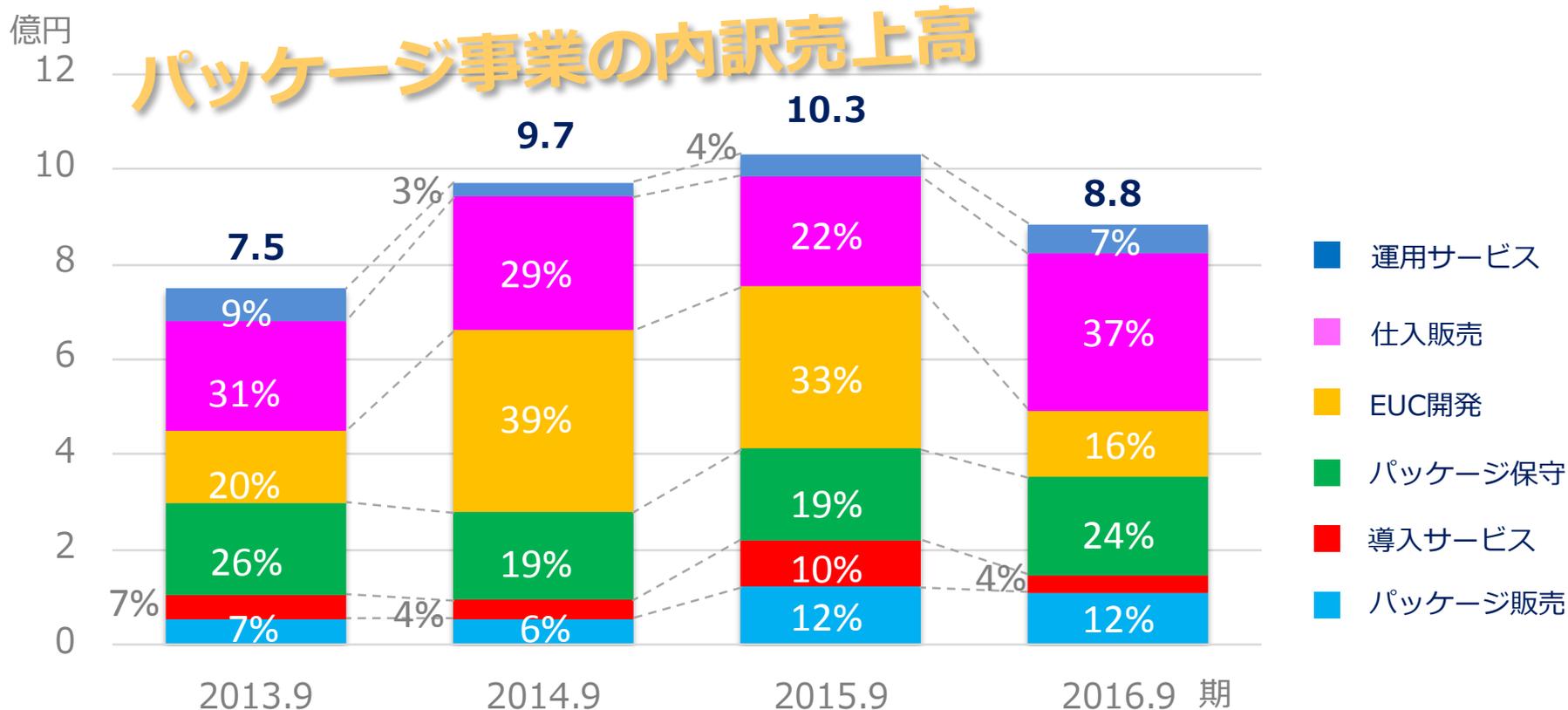
- ◆ソフトウェア事業 : サービス・流通業 / 金融・保険・証券業 / 官公庁 / 通信業向け案件の業績好調を受けて増収増益
- ◆パッケージ事業 : 導入支援 / 大学向けパッケージ販売が減少し減収減益
- ◆システム販売事業 : 公共系SI案件の拡大により増収
- ◆医療ビッグデータ事業 : レセプト件数の増加、データ分析等のサービス拡充により増収

事業セグメント別・分野別売上高

億円

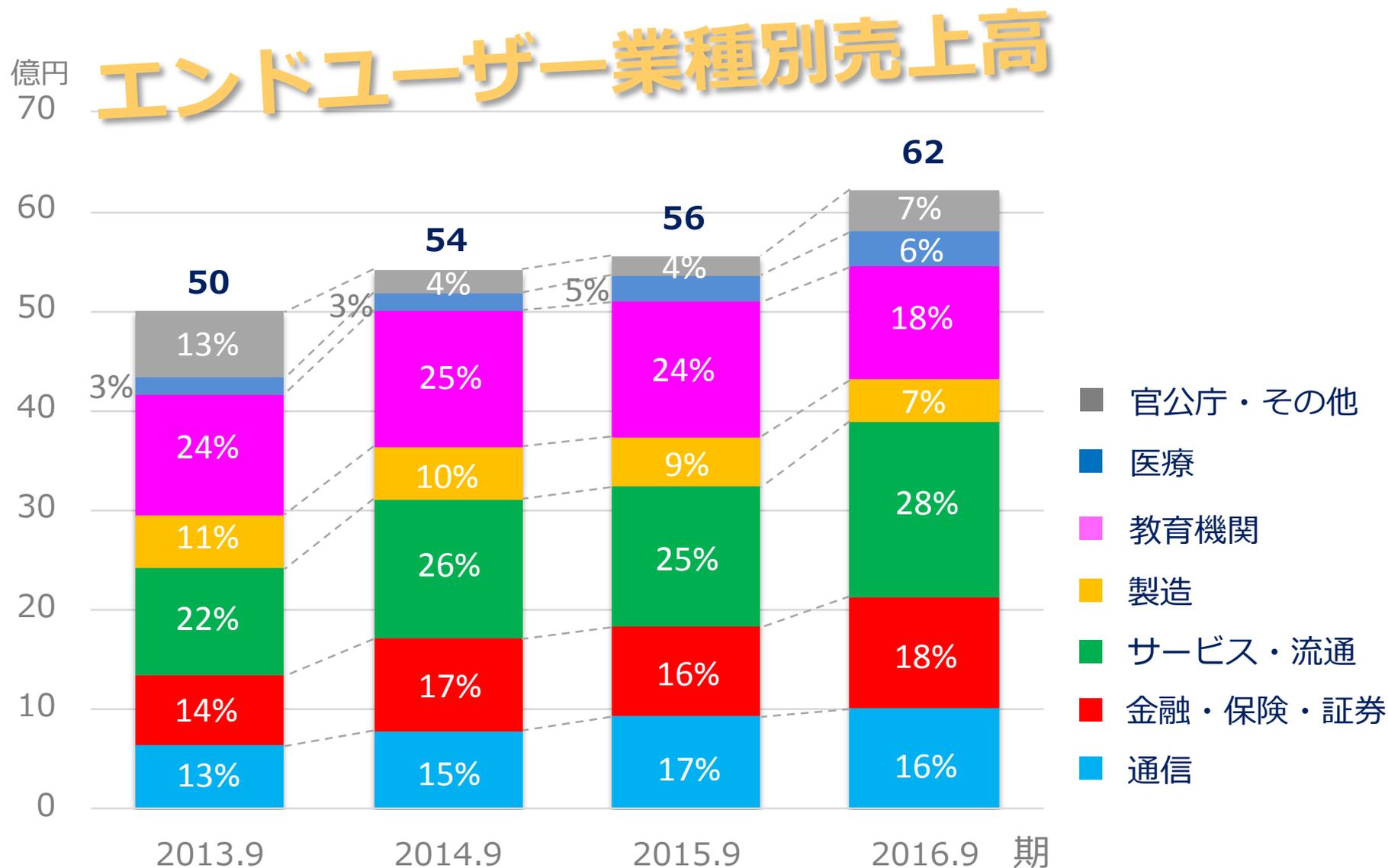


* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

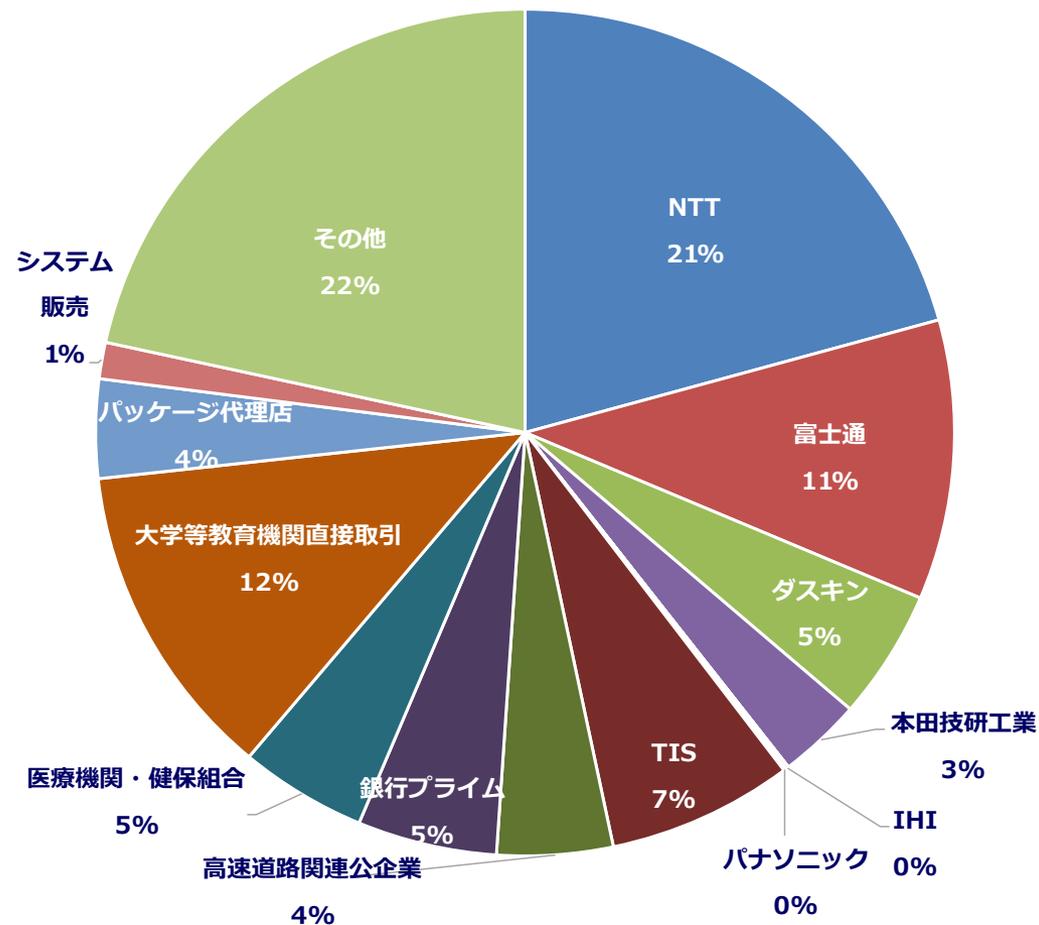
パッケージ販売	学校経営統合パッケージの販売収益
導入サービス	パッケージの導入支援サービス収益
パッケージ保守	パッケージの保守契約収益
EUC開発	パッケージ販売に伴う関連システムの個別受託開発の収益
仕入販売	ハードウェア及び他社開発ソフトウェアの仕入販売収益
運用サービス	データセンター及びシステムの運用に関する収益



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

顧客グループ別売上高

顧客	2015.9	2016.9
NTT	24.0%	20.7%
富士通	11.1%	10.7%
ダスキン	4.7%	4.9%
本田技研工業	2.3%	3.2%
電通	0.1%	-%
IHI	0.2%	0.1%
パナソニック	0.1%	0.1%
TIS	4.9%	7.0%
高速道路関連公企業	0.8%	4.4%
銀行プライム	2.7%	5.3%
医療機関・健保組合	3.8%	4.8%
大学等教育機関直接取引	13.0%	12.1%
パッケージ代理店	7.5%	3.8%
システム販売	3.8%	1.4%
その他	21.0%	21.6%



4. 2017年3月期 第2四半期の業績分析

4-4. 貸借対照表の推移

単位：百万円

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2016年 9月期	前期末比	
					差額	比率
資産	8,817	8,717	9,019	9,471	452	105%
流動資産	6,563	6,200	6,597	7,035	438	107%
有形固定資産	504	582	524	559	35	107%
無形固定資産	130	174	137	160	23	117%
投資その他の資産	1,618	1,760	1,760	1,714	▲46	97%
負債純資産合計	8,817	8,717	9,019	9,471	452	105%
負債	3,750	3,284	3,571	4,176	605	117%
流動負債	2,364	2,026	2,265	2,760	495	122%
固定負債	1,386	1,258	1,306	1,416	110	108%
純資産	5,066	5,433	5,448	5,294	▲154	97%
株主資本	4,863	5,148	5,269	5,142	▲127	98%
資本金	1,071	1,076	1,076	1,076	0	100%
資本剰余金	1,033	1,038	998	994	▲4	100%
利益剰余金	3,025	3,299	3,460	3,337	▲123	96%
自己株式	▲266	▲266	▲266	▲266	0	100%
その他の包括利益累計額	128	204	127	111	▲16	87%
新株予約権	0.5	—	—	—	—	—
非支配株主持分	73	79	51	39	▲12	76%

単位：百万円

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	前年比	
					差額	比率
研究開発費の合計	176	156	269	346	77	129%
ソフトウェア事業	59	56	62	54	▲8	87%
パッケージ事業	19	99	206	239	33	116%
医療ビッグデータ事業	95	1	0	52	52	—
その他	0	0	0	0	0	—

BankNeo
 経営管理・相続
 機能の開発
 マルチデバイス対応

次世代製品の開発
 及び
GAKUEN
 中国版の開発

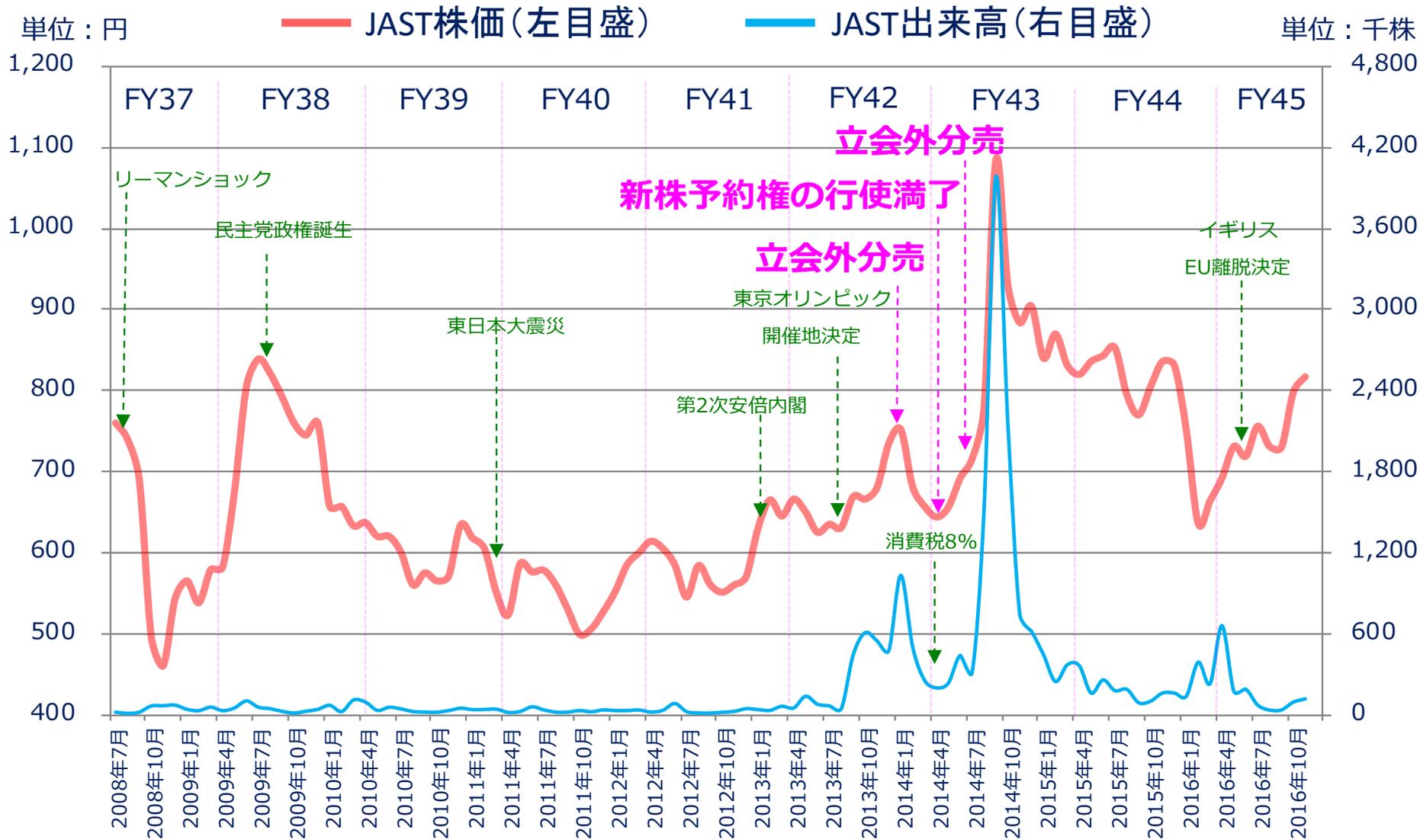
点検性能向上
 及び
 サービス拡大

単位：百万円

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2016年 9月期	2016年 3月期比 増減
営業キャッシュ・フロー	589	181	393	▲204	▲12	747	+759
投資キャッシュ・フロー	▲202	▲449	▲13	▲281	119	35	▲84
財務キャッシュ・フロー	▲790	▲145	149	▲102	▲216	125	+341
現金及び現金同等物の期末残高	2,015	1,609	2,144	1,559	1,447	2,353	+906

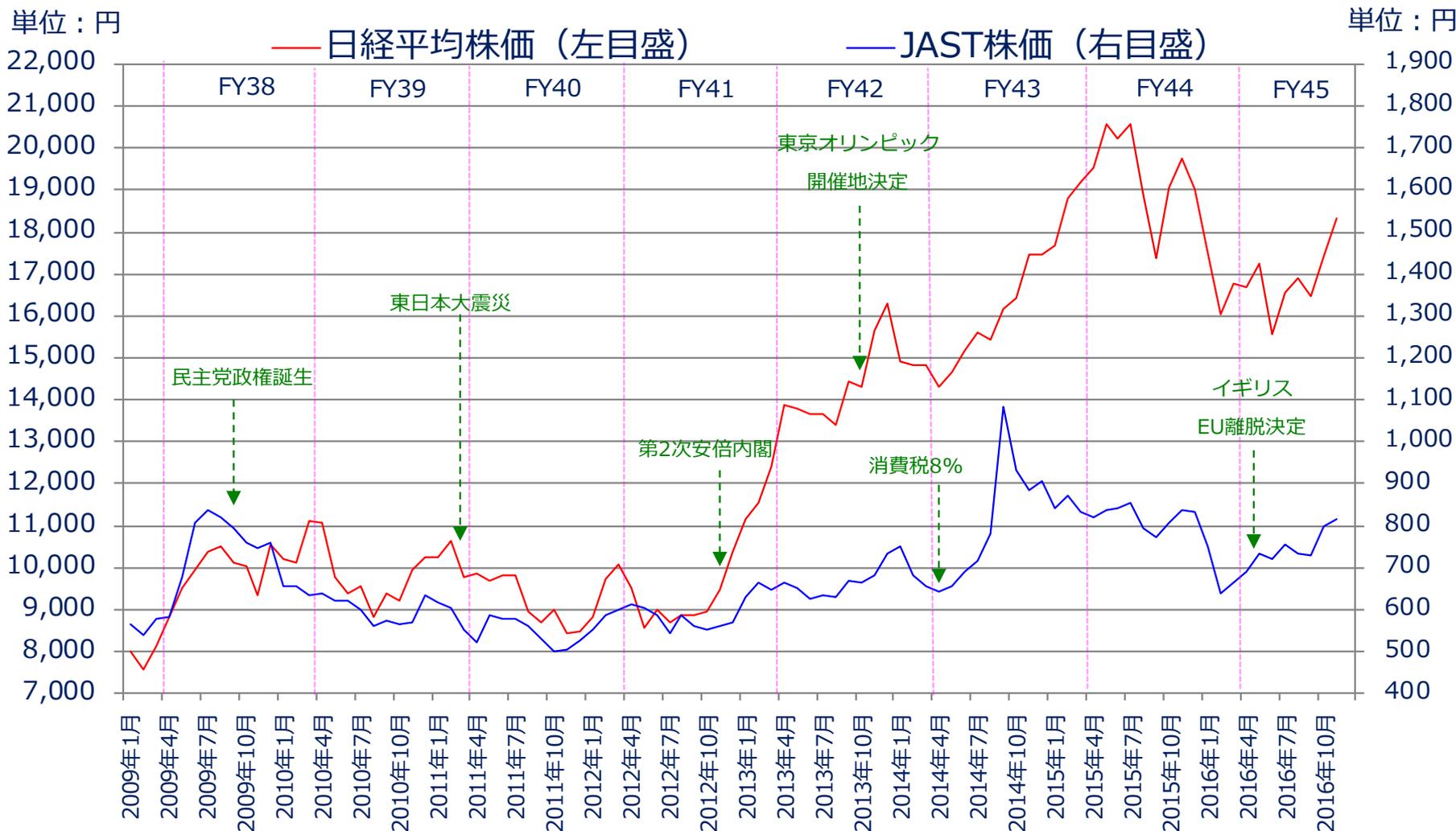
4. 2017年3月期 第2四半期の業績分析

4-7. 株価の推移と流動施策



4. 2017年3月期 第2四半期の業績分析

4-8. 日経平均株価との相関



株価 817円

EPS 67.64

PBR 0.82倍

PER 12.08倍

2016年11月30日終値

※2017年3月期通期予想値

5. 2017年3月期の計画

5 - 1. 2017年3月期スローガン

5 - 5. 受注残高と売上高の推移

5 - 2. 2017年3月期経営計画

5 - 6. 研究開発投資計画

5 - 3. 業績の予想

5 - 7. 配当方針

5 - 4. 業績達成に向けた施策

目標必達の考・動習慣を 確立しよう

(すぐやる、必ずやる、できるまでやる)

Japan System Techniques Co., Ltd.

経営計画

J A S Tビジョン2020（中長期経営計画）の達成に向けて、全社員が成果最大化にこだわり、目標必達の具体的方策を立て、有言実行する

執行役員からプロジェクトリーダーに至るまで、管理者は担当組織の最高責任者としての自覚の下、常に先頭に立って行動する

報連相、きめ細かなチェック、緊密な対話、スピーディな行動といった基本動作を再徹底することで、トラブル0件を必達する

受託開発は、業界最大手クラスメーカー・ベンダーとのコンペに打ち勝ち、要件定義から開発・運用までのワンストップサービスの拡大で、プライムベンダーの地位を獲得する

G A K U E Nは、既存サービスの深耕、海外市場での事業展開、新プロダクトを核とする最新ソリューションの拡大で、文教ITにおける圧倒的リーダーになる

J M I C Sは、サービス分野の拡大、点検エンジンの性能向上、アライアンスのシナジー効果等により、高収益事業へと進化する

B a n k N e oは、投資の選択と集中、コスト削減の徹底、セールスパワーの強化で、業績回復の年度とする

人事制度改革の継続と情報インフラの充実に注力し、社内環境やリスクマネジメントにおいても超一流へのステップを歩む

全社員が担当業務のNo.1となり、上記の各方針の必達に向け精励する

		2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	前年比
売上高	(百万円)	11,505	11,821	13,120	111%
営業利益	(百万円)	363 3.2%	401 3.4%	600 4.6%	150%
経常利益	(百万円)	435 3.8%	441 3.7%	610 4.6%	138%
当期純利益	(百万円)	228 2.0%	291 2.5%	355 2.7%	122%
一株当たり当期純利益	(円)	43.56	55.62	67.64	122%

* 全額の右の%数値は各々の利益率を表します。

5. 2017年3月期の計画

5-4. 業績達成に向けた施策_フィジビリティ分析

単位：百万円

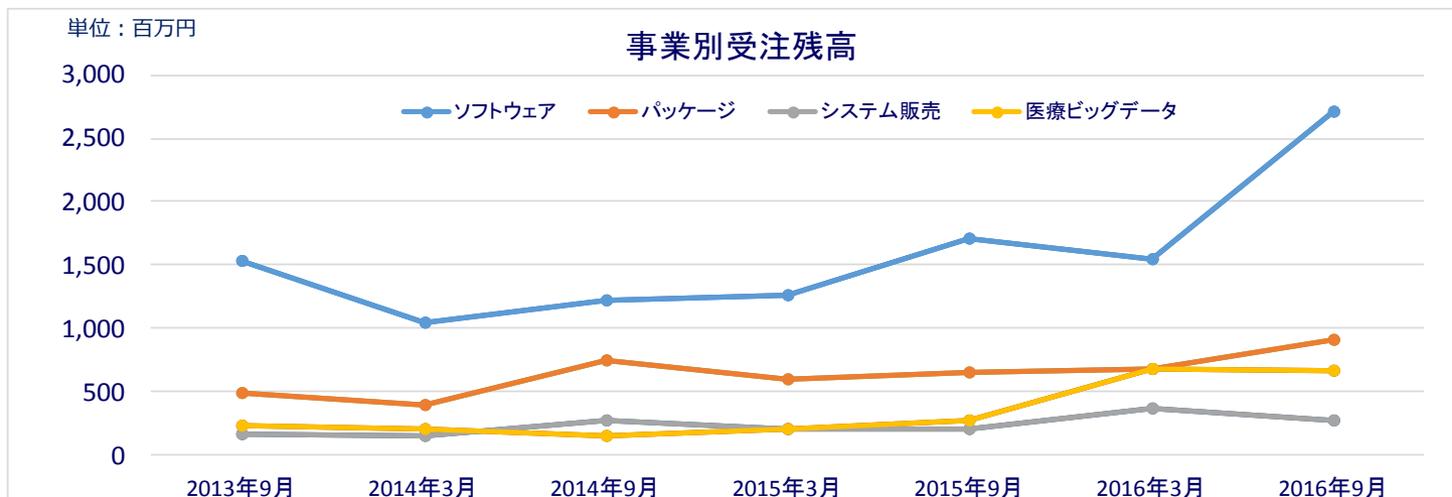
	2015年3月期 下期実績		2016年3月期 下期実績		2017年3月期 (通期予想-2Q累計)		前年比	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	6,081		6,262		6,893		+631	+10%
営業利益	285	4.7%	366	5.8%	575	8.3%	+209	+57%
経常利益	321	5.3%	387	6.2%	572	8.3%	+185	+48%
当期純利益	168	2.8%	249	4.0%	346	5.0%	+97	+39%

%数値は対売上高比率

項目	金額〔億円〕
〔A〕 ソフトウェア事業の拡大と収益性向上	約 +2.6
〔B〕 パッケージ事業の増益	約 +1.8
〔C〕 医療BD事業の成長（研究開発増加込み）	約 +0.2
〔D〕 その他販管費等増（一般管理費増、ITインフラ整備等）	約 ▲2.5

5. 2017年3月期の計画

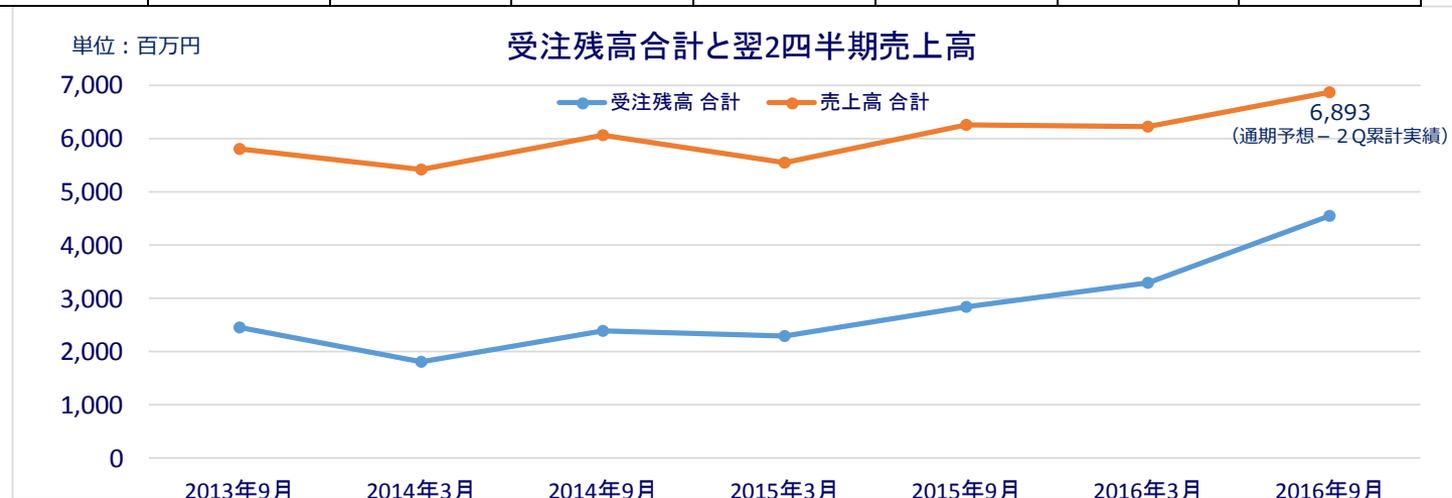
5-5. 受注残高と売上高の推移



事業別受注残高

事業/期	2013年9月	2014年3月	2014年9月	2015年3月	2015年9月	2016年3月	2016年9月
ソフトウェア	1,529	1,046	1,227	1,267	1,711	1,545	2,709
パッケージ	495	398	742	604	656	674	917
システム販売	173	154	273	209	214	376	275
医療ビッグデータ	240	202	157	209	274	684	661
受注残高 合計	2,439	1,803	2,401	2,291	2,856	3,280	4,563

単位：百万円



研究開発投資の積極拡大を増収効果と収益性拡大で克服し増益実現

単位：百万円

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期
研究開発費の合計	176	156	269	346	
ソフトウェア事業	59	56	62	54	
パッケージ事業	19	99	206	239	
医療ビッグデータ事業	95	1	0	52	
その他	0	0	0	0	

BankNeo
次世代製品、
機能強化

GAKUEN
次世代製品、中国進
出、新サービス

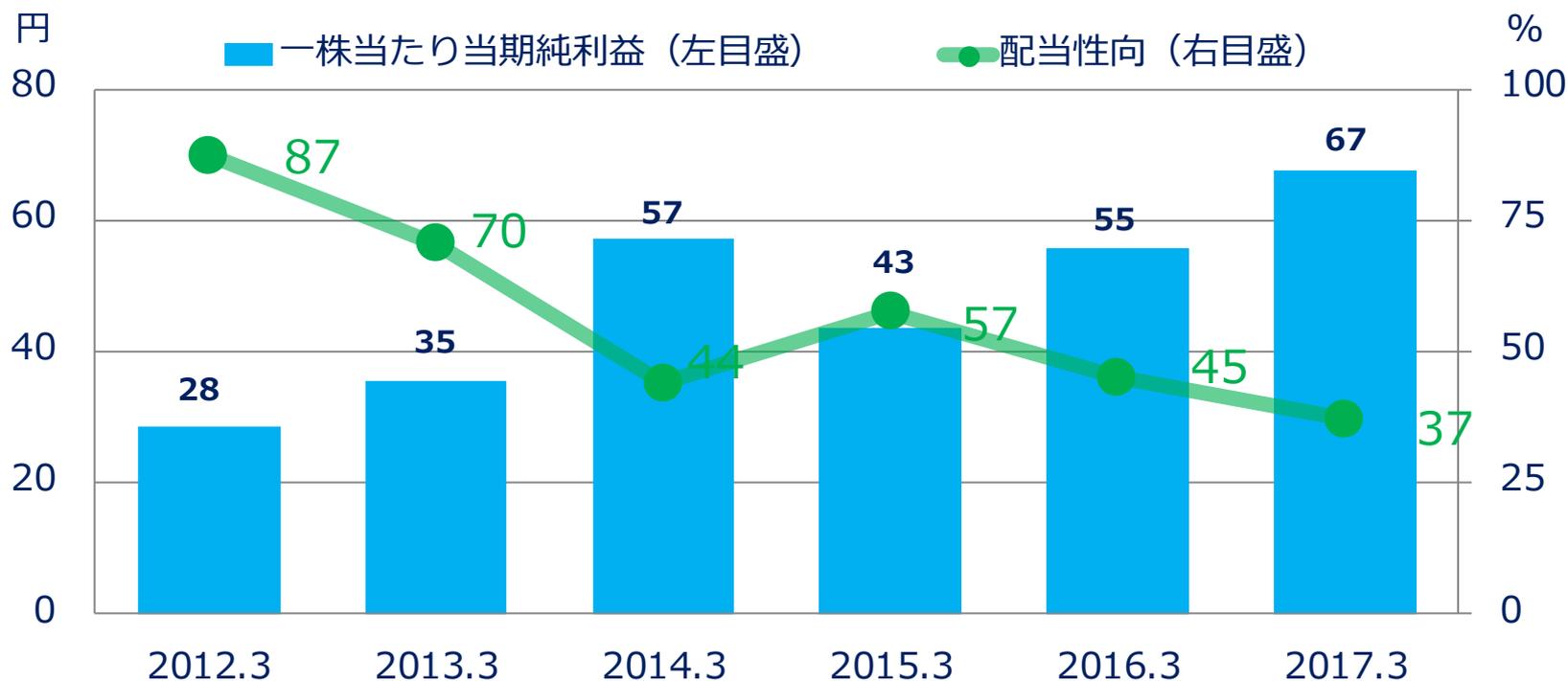
JMICS
性能強化・向上、
サービス拡大

矢印の角度は増加率イメージ

5. 2017年3月期の計画

5-7. 配当方針

		2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	前年差額
配当金の総額	百万円	130	131	131	+0
1株配当金	円	25	25	25	±0



2017年3月期の配当方針

**年度業績等を勘案し、普通配当25円とする予定
(配当利回り3.1%)**

6. その他トピックス

6-1. 事業ポートフォリオの中長期
構想

6-5. 事業構成とアライアンス

6-2. GAKUEN

6-6. 新領域開拓

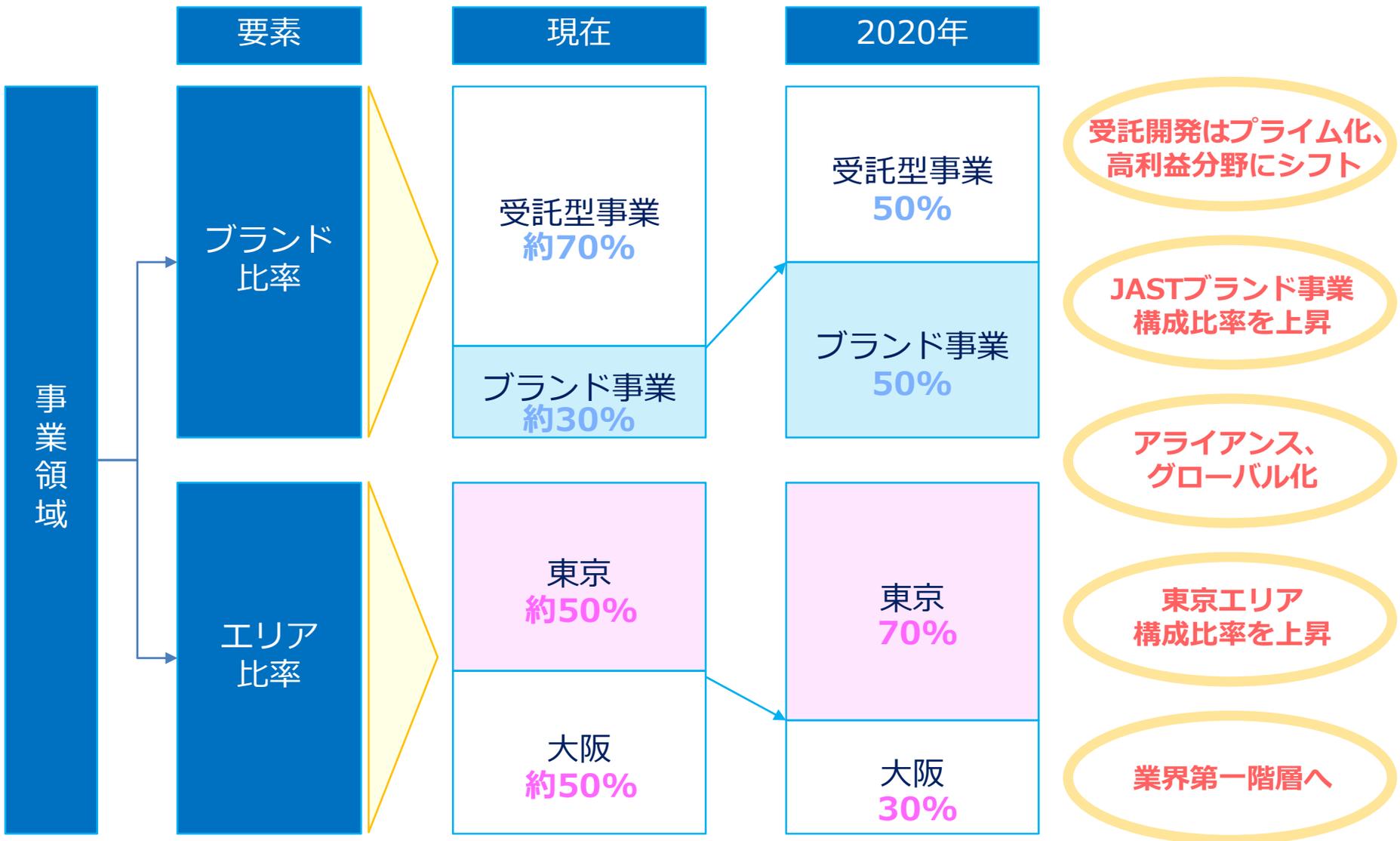
6-3. JMICS

6-7. その他の経営管理関連事項

6-4. BankNeo

6. その他トピックス

6-1. 事業ポートフォリオの中長期構想

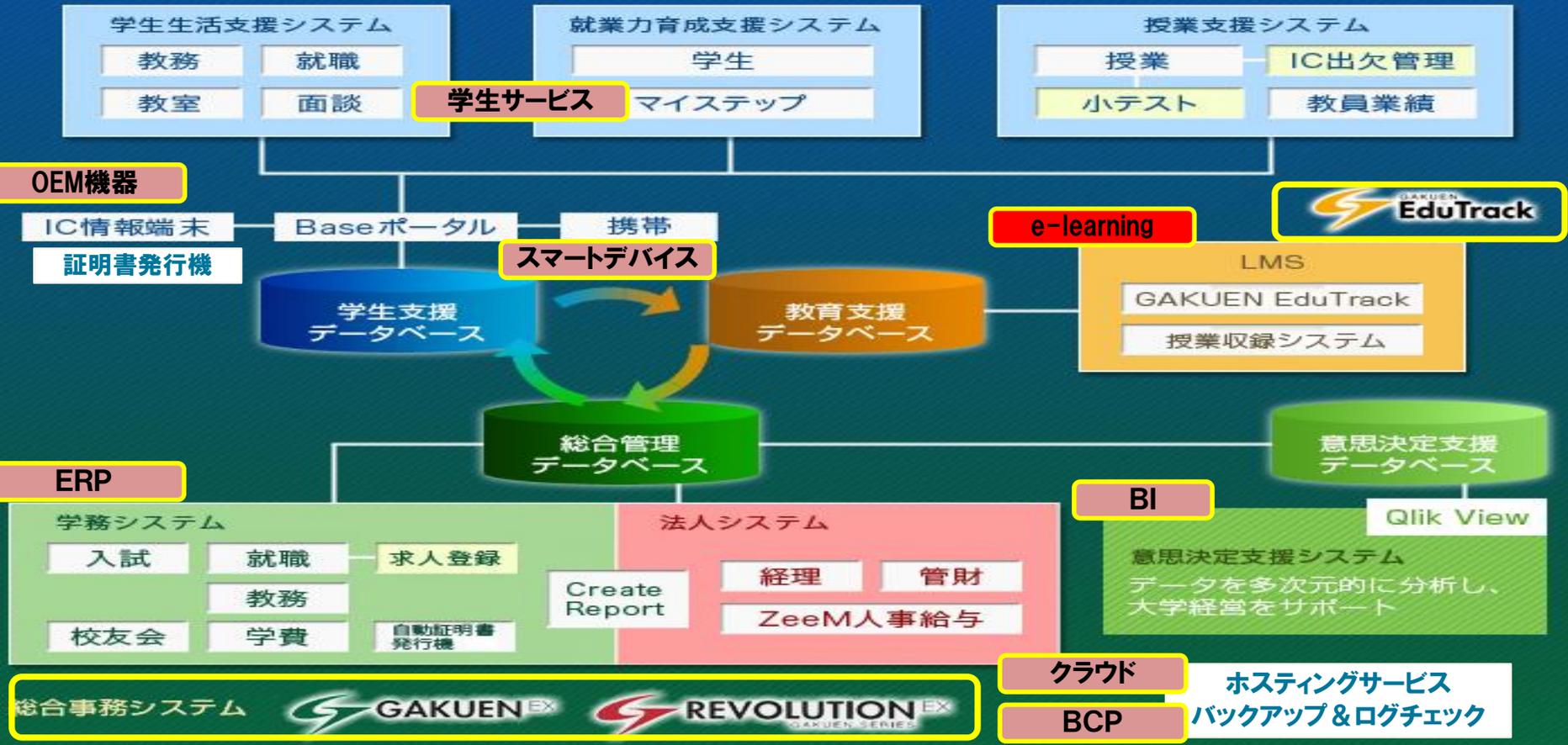


GAKUEN THE BEST PARTNER FOR UNIVERSITY

webサービス学生支援システム **UNIVERSAL PASSPORT EX**

学内の情報を統括管理し、いつでもどこでもアクセスできるデジタルキャンパスを実現。学生・教職員だけでなく社会・地域・OBへと大学サービスを広げます。

既存コアサービス
パッケージ
受託開発
仕入販売

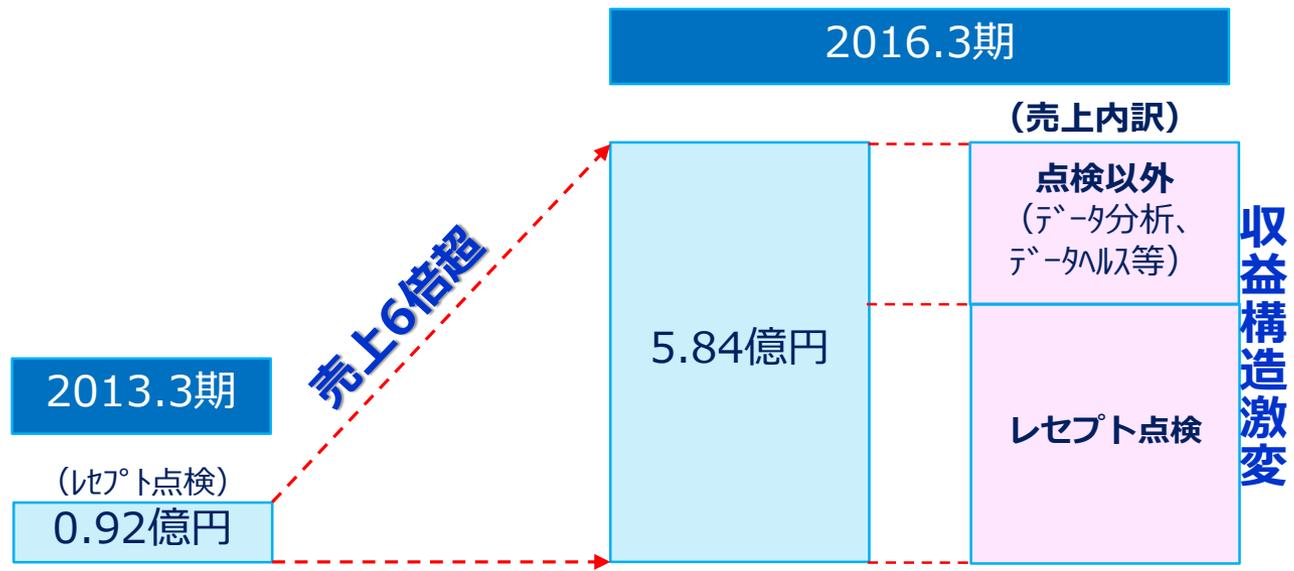


情報をスマートかつコンパクトに管理。情報把握と意思決定をスムーズにサポート

レセプト内容 点検サービス	医療情報 分析サービス	文書通知 サービス	Web通知 サービス
自治体 : 5自治体 健康保険組合 : 5 5 組合 共済組合 : 3 組合 生活保護 : 4 自治体 自立支援 : 2 自治体 国民健康保険組合 : 2 組合	自治体 : 7 自治体 健康保険組合 : 3 7 組合 共済組合 : 6 組合 後期高齢者広域連合 : 1 自治体 国民健康保険組合 : 1 1 組合	自治体 : 4 自治体 健康保険組合 : 3 4 組合 共済組合 : 5 組合 後期高齢者広域連合 : 1 自治体 国民健康保険組合 : 1 組合	健康保険組合 : 2 組合

総契約先数 104 保険者

医療ビッグデータとICTの融合による保健事業改革事業に進化



BankNeo JUST SOLUTION FOR BANKING

**CRM
SFA**

ポータル モバイル連携機能
地図連携機能 顧客サイト
フロントコンプライアンス

**融資
支援**

貸出審査 保安全管理
格付審査 自己査定
債権管理 回覧ワークフロー

**経営
管理**

経営分析 手数料・事務量
原価計算 日計
個社別取引採算管理

相続

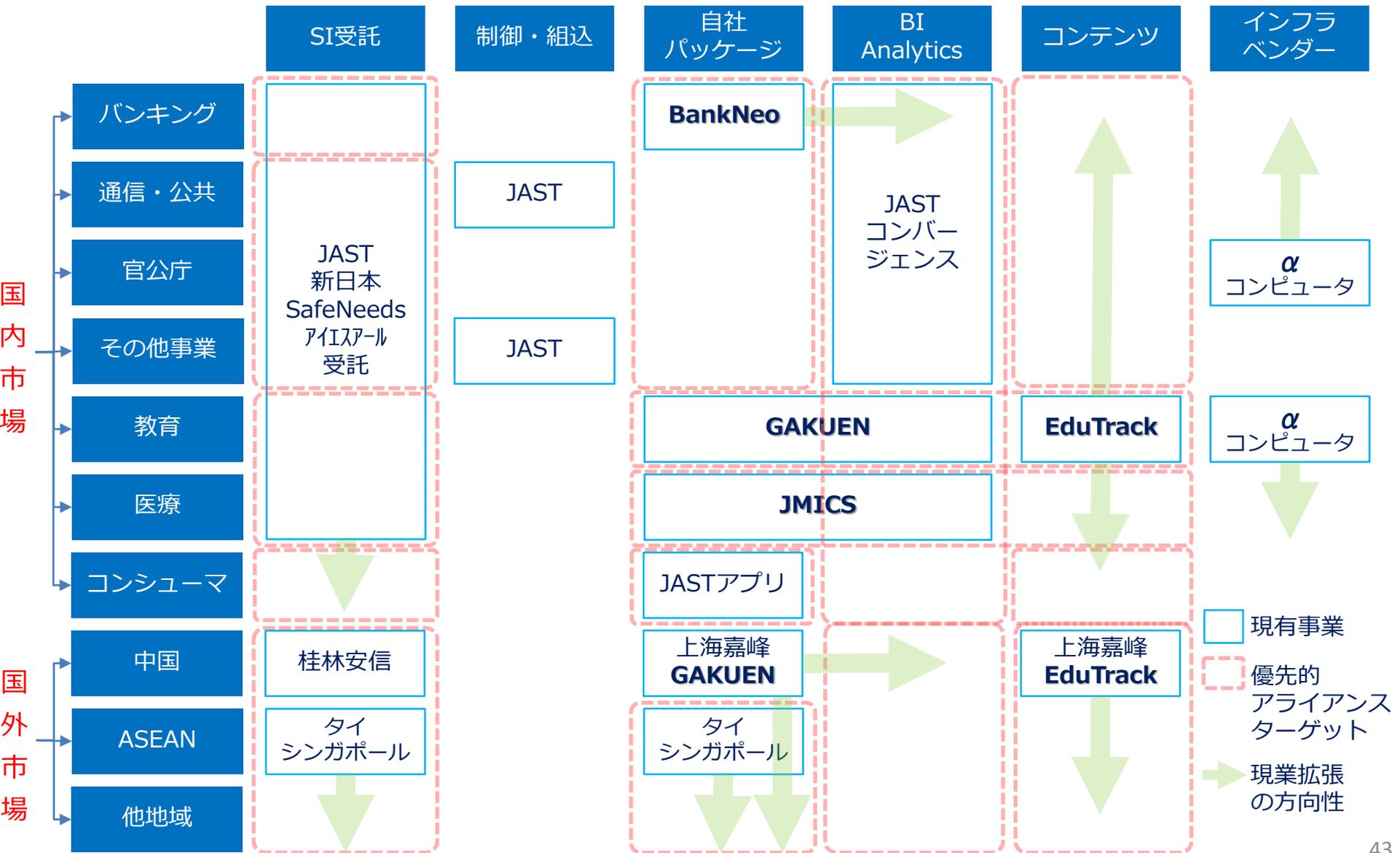
手続き支援 案件進捗管理
相続税シミュレーション
顧客情報の一元管理



- ① **スモールスタート**
低価格、短期間で導入
- ② **機能単位で拡張**
- ③ **融資支援、経営管理、相続もスムーズに拡張**

6. その他トピックス

6-5. 事業構成とアライアンス



6. その他トピックス

6-6. 新領域開拓

	ビッグデータ	IoT、コンテンツ	フィンテック	クラウド	グローバル
ソフトウェア受託開発	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データ加工事業部発足 ✓ AWS強化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SI案件のモバイル対応増加 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 金融系SI案件での拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SIのクラウド利用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在外4社の現地案件拡大 ✓ 아시아拡大&安定化
GAKUEN	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大学経営意思決定支援 (BI) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ e-ラーニングシステム「EduTrack」拡販 	<ul style="list-style-type: none"> GAKUENフィンテック (仮称) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ GAKUENクラウドサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国市場拡大 第三国での販売
JMICS	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 月間レポート処理数1000万枚 ✓ データ分析ツール「リスカル君」拡販 	<ul style="list-style-type: none"> 個人向けサービス、ウェアラブル等 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ レポート点検 (ユーザクラウド・ビジネスクラウド) 拡大 	<ul style="list-style-type: none"> アジア市場開拓
BankNeo	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「BankNeo for CRM/SFA」拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CRM活用、おこしやね 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「BankNeo相続」拡販 	<ul style="list-style-type: none"> クラウド対応及び拡大 	
システム販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各種分析サービス拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ AHA製デジタルサイネージ商材拡大 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ ITインフラのクラウド提供 	

凡例： ✓ 現業領域と施策 ターゲット領域 JASTブランド

CGC各原則への対応状況（主なもの）

- ★社外役員：社外取締役2名／取締役総数6名、社外監査役2名／監査役総数3名。
人材の「持合い」や「形式的充足」はしない。
- ★関連当事者取引等：原則行わない。
発生した場合も通常外部取引と全く同様の審査承認プロセスを辿る。
- ★政策保有株式：基本理念である完全独立系の堅持、が根本前提。

会計統制

- ★連結・単体とも決算機能は大阪本社で集中管理。
収益責任部門からの独立性を保持。
- ★内部監査、監査法人監査、J-soxで統制を補完・強化。

過重労働抑止対策の状況

- ★今期4～10月累計月間平均残業約20時間。
- ★過少・過大集計（意図的、凡ミス問わず）及び私事在館ゼロ化への取り組みを強化。
- ★有給休暇取得率向上への取り組み（取得奨励日、メモリアル休暇）。

不易流行

本質的なものを守る一方で、新しい変化を取り入れ、より多くの価値を創造していくこと

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。尚、特に注記のない限り、業績に係る数値等は全て連結ベースで記載しております。